

証券コード：7472

“百年の信頼を未来につなげる”

2026年3月期 中間決算説明会資料

2025年11月10日(月)
株式会社鳥羽洋行

I. 2026年3月期2Q決算について

II. 今後の戦略及び見通し

I.2026年3月期2Q決算について

I.2026年3月期2Q決算について



株式
会社

鳥羽洋行

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	25/3月期 2Q	26/3月期 2Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	14,186	14,421	1.7%	国内は前期比で微減、中国が増加
営 業 利 益	662	749	13.2%	売上総利益は前期比 3.3%増 販売管理費は前期比 1.3%減
営 業 利 益 率	4.7%	5.2%		
経 常 利 益	728	802	10.1%	
経 常 利 益 率	5.1%	5.6%		
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	493	558	13.1%	
中 間 純 利 益 率	3.5%	3.9%		

Point!

- AI関連の高性能半導体需要は継続的に拡大
- 自動車関連は、米国関税政策の懸念により設備投資は手控え傾向

I.2026年3月期2Q決算について

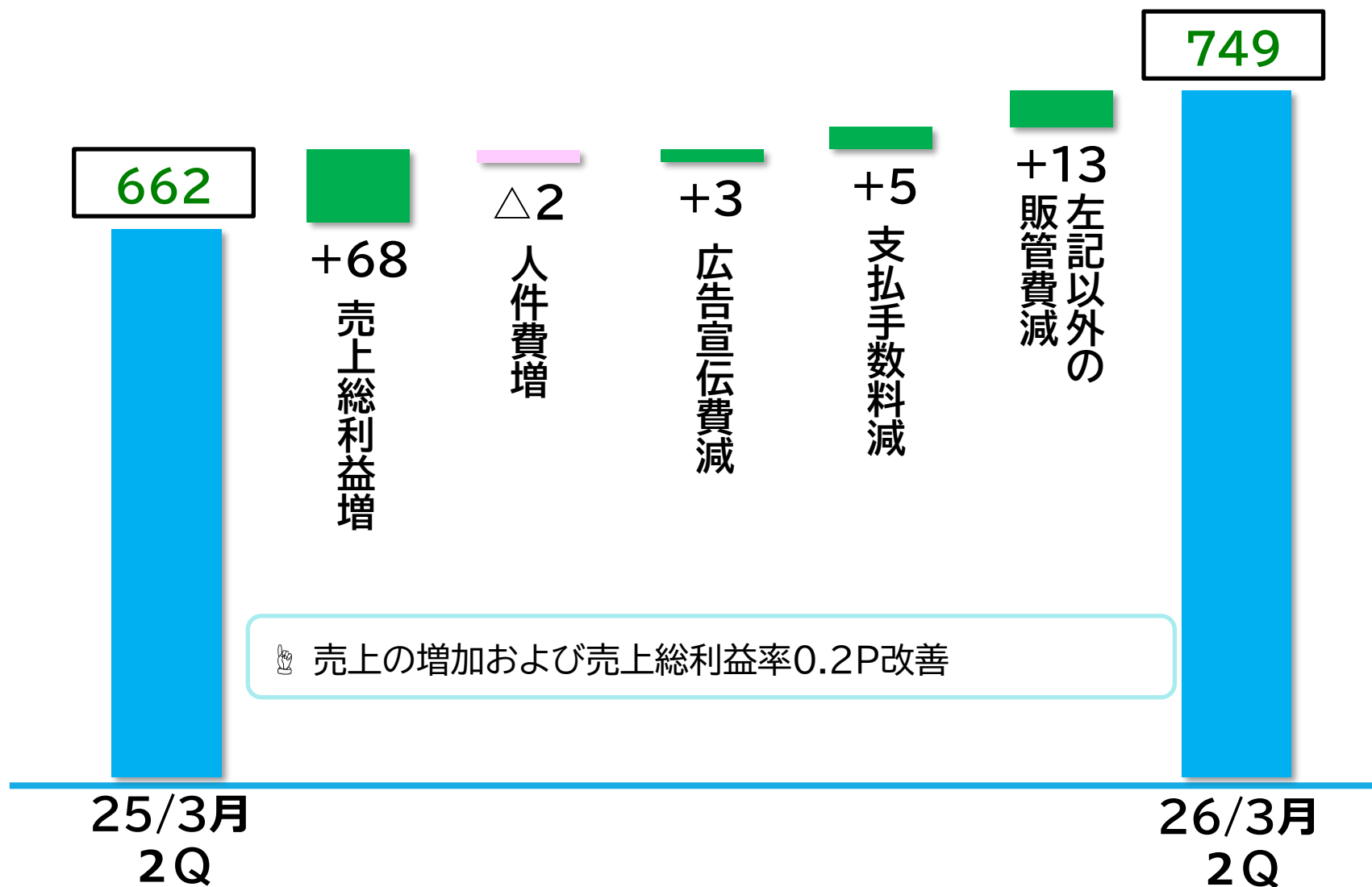


株式
会社

鳥羽洋行

<連結営業利益増減分析>

(単位:百万円)



I.2026年3月期2Q決算について



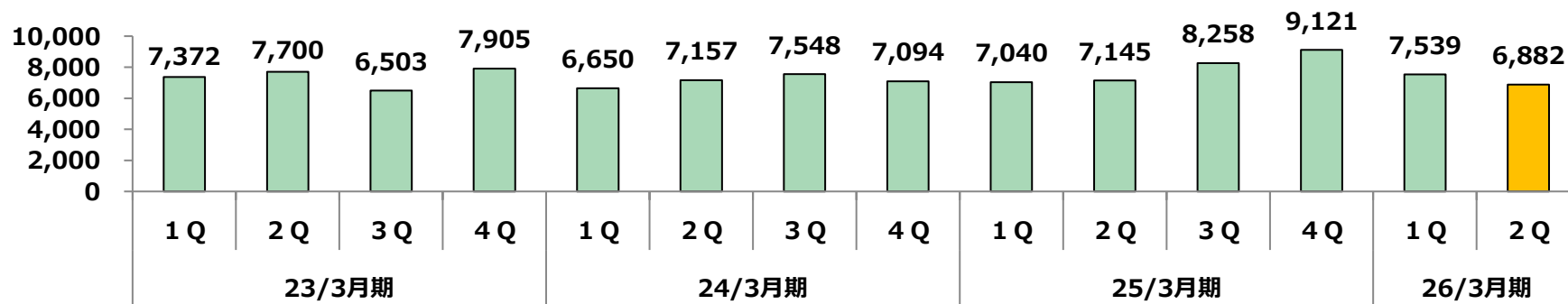
株式
会社

鳥羽洋行

<四半期毎の連結売上高・連結営業利益の推移>

売上高

(百万円)

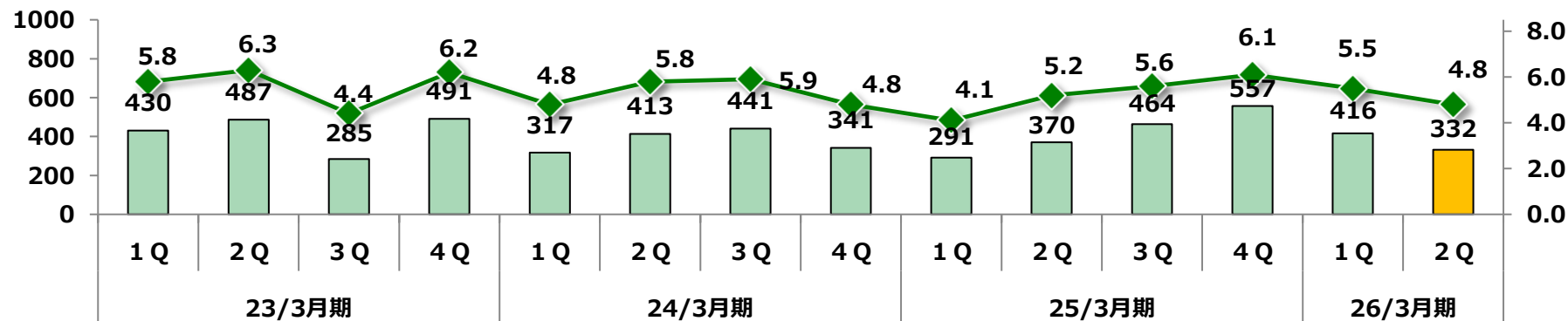


営業利益/営業利益率

(百万円)

営業利益 営業利益率

(%)



Point!

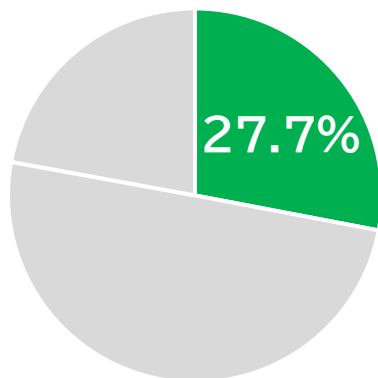
●自動車・車載部品関連は前年割れも、半導体・電子部品関連得意先への売上は堅調

<部門別実績>

制御機器

連結売上高

39億87百万円



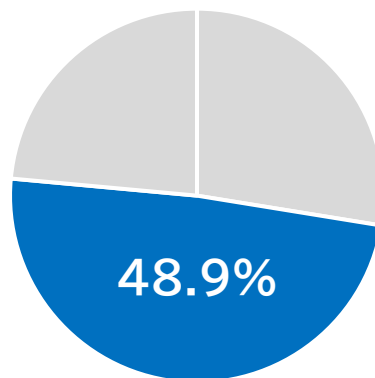
得意先の業種

デジタル機器/半導体・液晶製造装置/基盤実装機/自動車・車載部品/工作機械等

FA機器

連結売上高

70億59百万円



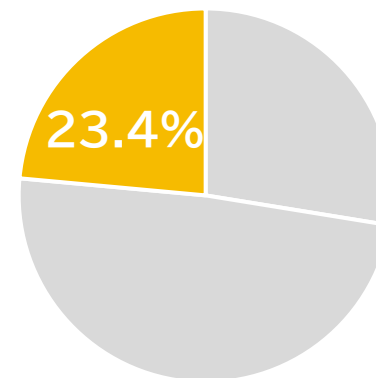
得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/OA機器/医療機器/食品機器等

産業機器

連結売上高

33億75百万円



得意先の業種

デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/精密機器等

I.2026年3月期2Q決算について

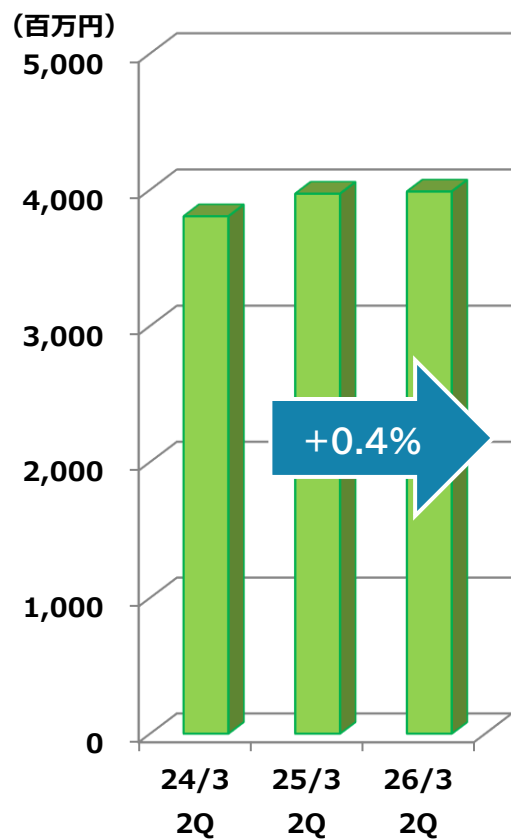


株式
会社

鳥羽洋行

<商品部門別実績>

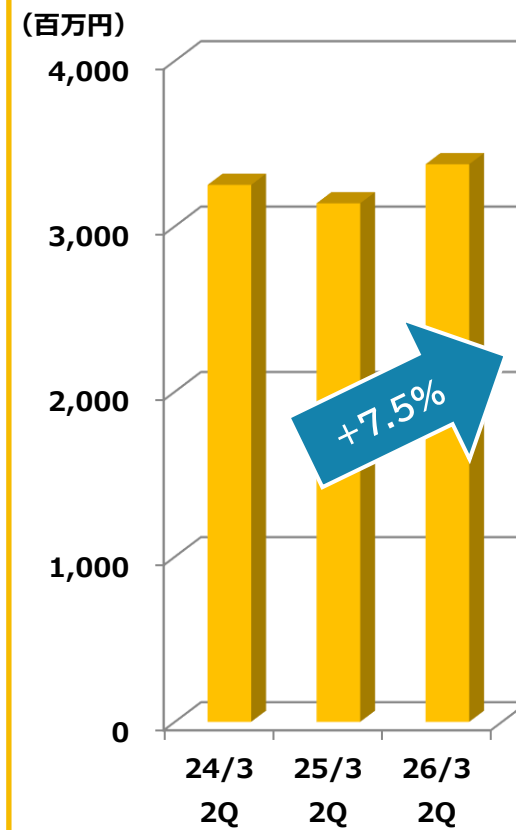
制御機器



FA機器



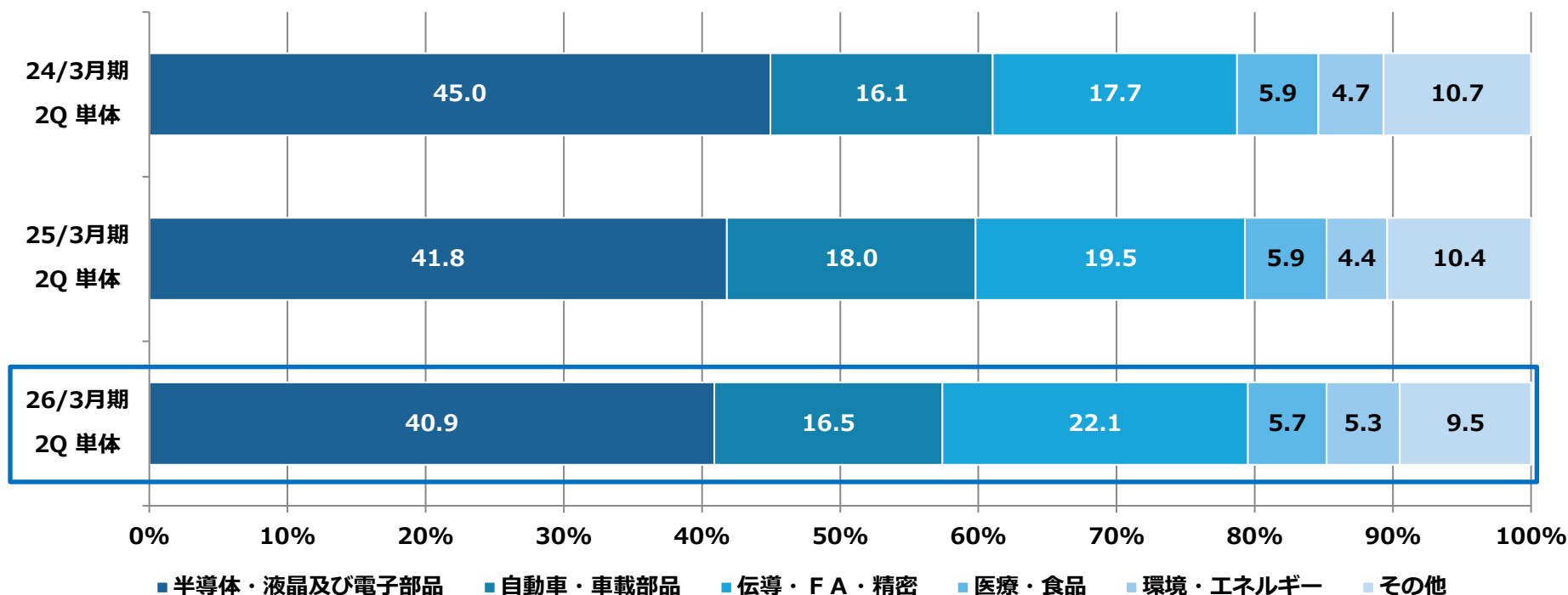
産業機器



Point!

- ・制御機器: 半導体製造装置向けの空気圧機器の販売が前期を上回る
- ・F A 機器: 国内の自動車関連は低迷、中国の電子部品向けの販売が堅調
- ・産業機器: 半導体関連向けのろ過フィルターの販売堅調、自動車関連向けヘナットランナーの販売が好調に推移

<業種別売上構成比(単体)推移>



<半導体・液晶及び電子部品>

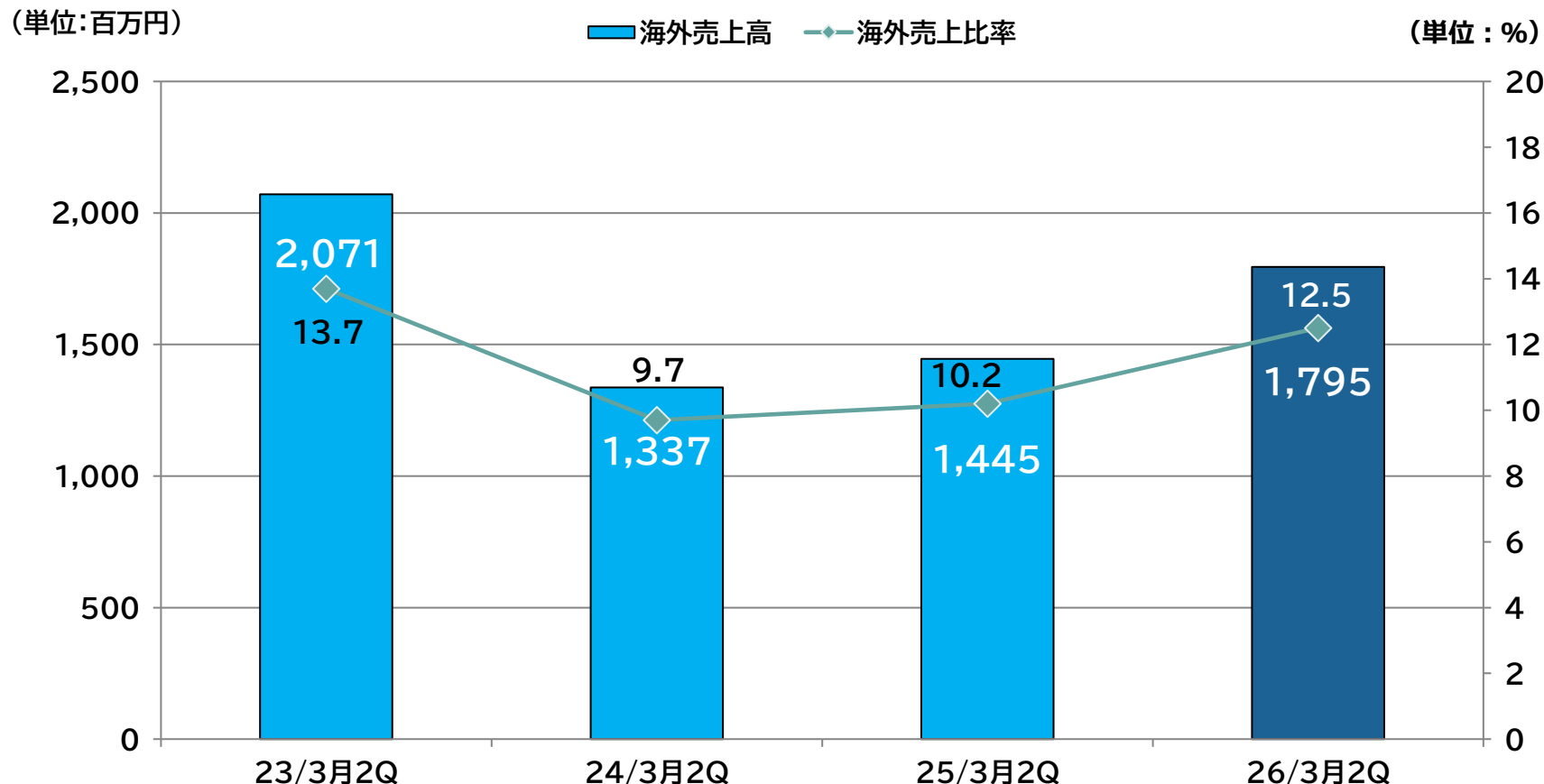
半導体製造装置関連の得意先への販売は堅調であったものの、各種デバイスに搭載されるメモリ半導体や情報通信機器の回復が遅れ、販売シェアが減少(△0.9P)

<伝導・FA・精密>

産業用ロボット等のFA機器及び工作機械関連の得意先向け販売が増加(+2.6P)

Point!

<海外売上高・海外売上比率>



Point!

- 中国経済の低迷は継続しているものの、鳥羽(上海)貿易有限公司におけるスマートフォン関連向け顧客へのロボット関連商材の販売が好調に推移

I.2026年3月期2Q決算について



株式
会社

鳥羽洋行

<連結貸借対照表の概要>

(単位:百万円)

	25/3月末	構成比 (%)	25/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	23,284	75.8	20,808	73.2	
現金・預金	10,472	34.1	10,269	36.1	
受取手形・売掛金・ 電子記録債権	12,022	39.1	10,042	35.3	
商品	604	2.0	415	1.5	
固定資産	7,443	24.2	7,625	26.8	
資産合計	30,728	100.0	28,433	100.0	
流動負債	9,280	30.2	6,986	24.6	
支払手形・買掛金・ 電子記録債務	8,474	27.6	6,325	22.2	
固定負債	465	1.5	557	2.0	
負債合計	9,746	31.7	7,544	26.5	
純資産合計	20,982	68.3	20,889	73.5	
負債純資産合計	30,728	100.0	28,433	100.0	

Point!

- 構成比に大きな変化はございません。
- 実質無借金経営を継続しております。

I.2026年3月期2Q決算について



株式
会社

鳥羽洋行

<連結キャッシュ・フロー計算書の概要>

(単位：百万円)

	25/3月期 2Q	26/3月期 2Q	2026年3月期2Q CFの主な内訳
営業活動によるCF	△514	595	・税金等調整前中間純利益の計上(+811百万円) ・売上債権の減少(+1,896百万円) ・棚卸資産の減少(+178百万円) ・仕入債務の減少(△2,125百万円) ・法人税等の支払(△321百万円)
投資活動によるCF	△68	△33	・投資有価証券の取得(△17百万円)
財務活動によるCF	△950	△695	・配当金の支払(△514百万円) ・自己株式の取得(△180百万円)
現金及び現金同等物 に係る換算差額	164	△69	
現金及び現金同等物 の増減額	△1,369	△202	
現金及び現金同等物 の期首残高	12,648	10,472	
現金及び現金同等物 の中間期末残高	11,278	10,269	

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

第5次中期経営計画

Next Stage 2028

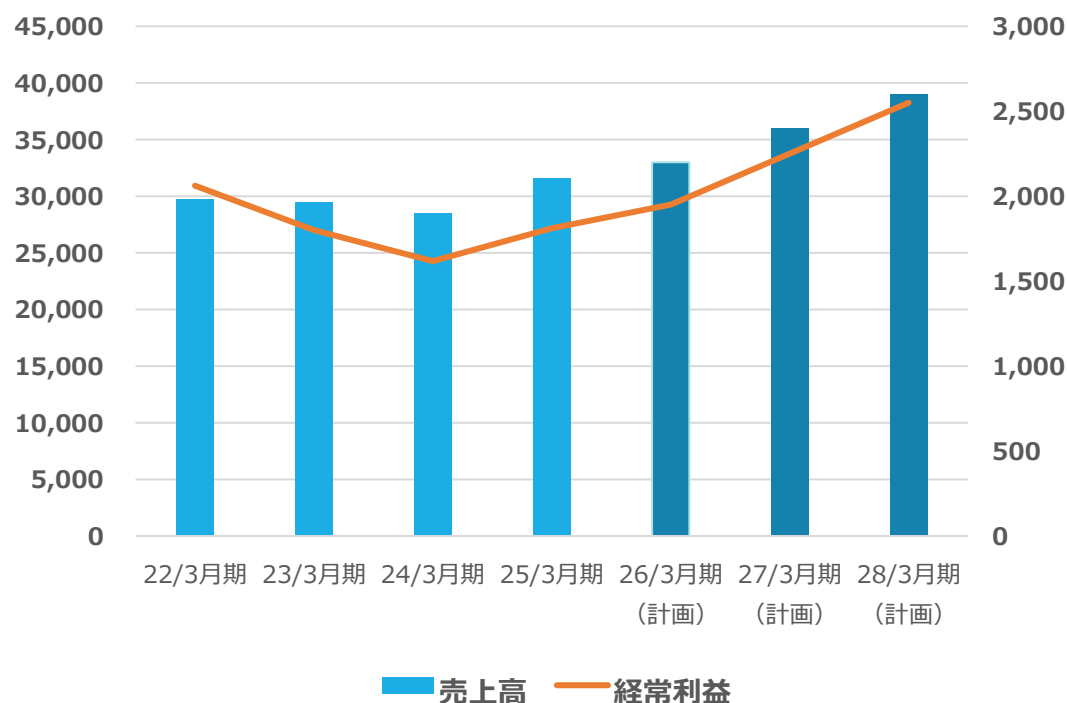
～ 新たなステージへ ～

(単位：百万円)

	第77期	第78期	第79期
	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期
売上高	33,000	36,000	39,000
営業利益	1,850	2,150	2,400
経常利益	1,950	2,250	2,550
当期 純利益	1,350	1,550	1,700

連結売上高と経常利益の推移

(単位：百万円)



<2026年3月期の連結業績予想>

(単位:百万円)

	第76期 (2025年3月期) 実績	第77期 (2026年3月期) 計画	前期比 (増減率)
売上高	31,565	33,000	4.5%
営業利益	1,684	1,850	9.8%
営業利益率	5.3%	5.6%	0.3P
経常利益	1,812	1,950	7.6%
経常利益率	5.7%	5.9%	0.2P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,231	1,350	9.6%
当期純利益率	3.9%	4.1%	0.2P

▶ 事業戦略 「5つの柱」

1 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
- ・M&Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

2 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)

- ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘

3 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化

4 技術商社としての存在価値強化 (ブランド強化)

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進
- ・人的資本経営推進 社員研修等による人材の育成

5 販売ネットワーク強化

- ・国内外新規拠点の検討



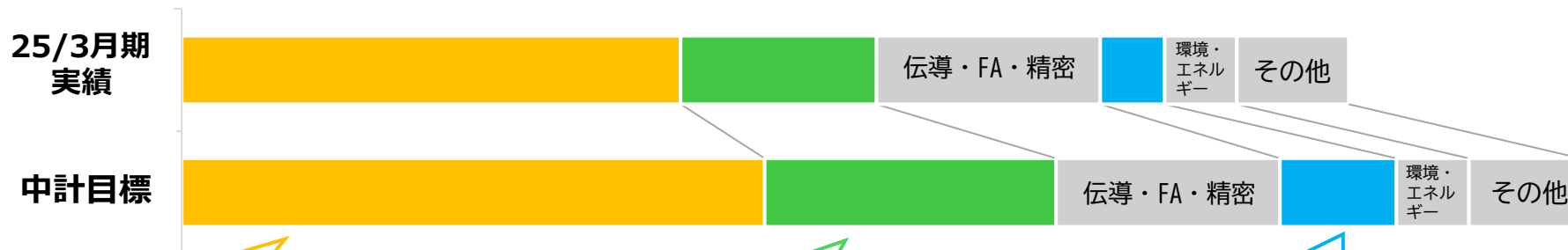
M&Aによる事業規模の拡大
販路拡大に向け継続的に検討



協働ロボットや小型～中型の
産業用ロボット販売に注力

事業戦略 「業種別シェアの拡大」

～ 成長チャンスをいち早く察知し、新たな需要を取り込む ～



半導体・液晶及び電子部品

生成A I / 5 G / メタバース等の情報通信技術普及による中長期的な半導体関連設備投資は旺盛に推移。他社には無い、付加価値の高い商材を投入し市場拡大する。



注力商材：空気圧機器、ろ過フィルター

自動車・車載部品

既存顧客に加え、新規E V / H V 関連設備への商材と自動化システムを積極提案し、当社業種別シェアを25%へ拡大。当社の主軸となる業種として育成する。



注力商材：ロボット、自動化システム

医療・食品

M & Aにより、理化学系商社を完全子会社化。互いの保有する優れた商材と販売ノウハウの共有により、新たな商材の拡販を展開中。



株式会社 和泉テック
Science Technology Supporter

注力販売先：医療/大学・研究機関

▶ 事業戦略「新規開拓とブランド強化」

< 展示会出展報告 >

●第5回 工場内の協働ロボット利活用展

会 場：東京ビッグサイト

開催日：2025年7月23日～25日

来場者数：1,964名

●第28回 機械要素技術展【大阪】

会 場：インテックス大阪

開催日：2025年10月1日～3日

来場者数：2,535名

●SMCプライベート展示会2025

会 場：SMC株式会社 八重洲新本社

開催日：2025年11月6日～7日

来場者数：271名



近年、大型展示会への出展を継続しており、新規顧客開拓とブランド強化をはかっております。また、全国の営業拠点ではお客様に向けた、各メーカーとの複合展、ミニ展、セミナー等を積極的に開催しており、地道な営業活動を展開しております。

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し



株式
会社

鳥羽洋行

▶ 事業戦略 「新規取扱い注力商材」

2022年
物流自動化学業開始



<ソフトバンクロボティクス株式会社>

SoftBank
Robotics



2021年
配膳・運搬ロボット



2018年
清掃ロボット



2014年
ヒューマノイド

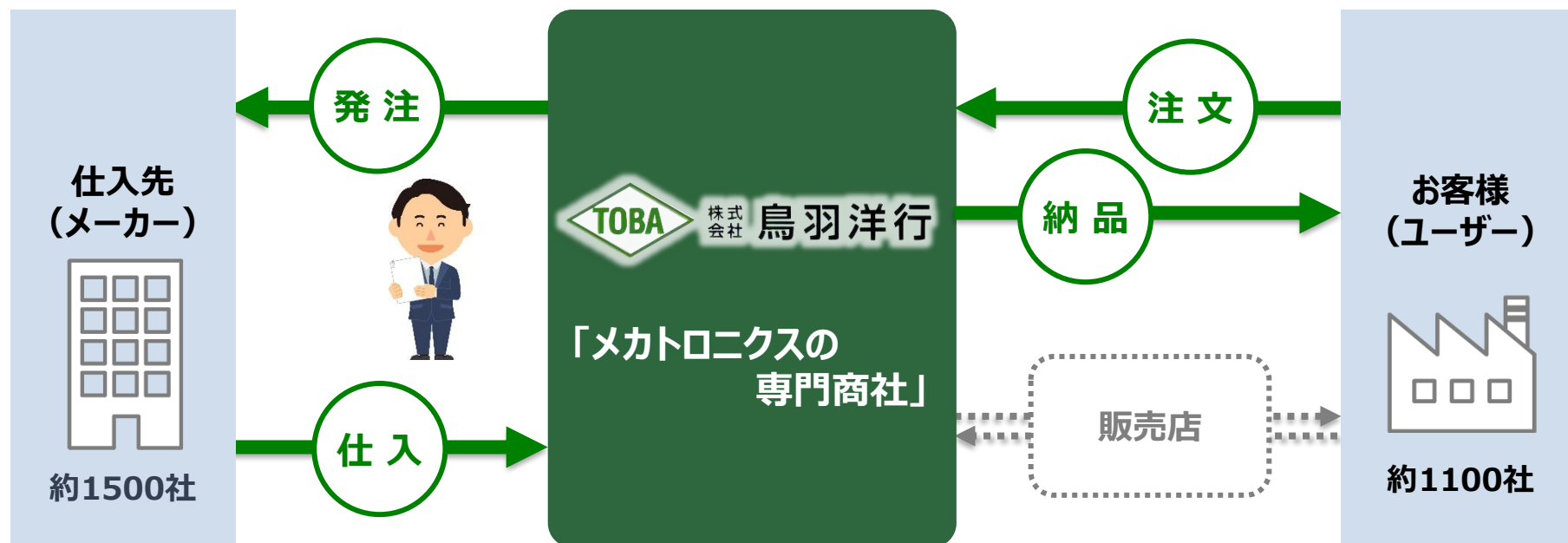
PUDU T300



©Pudu Technology Inc. | SoftBank Robotics

▶ 事業戦略 販売体制（直販体制）

当社は、お客様(ユーザー)へ直接販売を行う「直販体制」を構築しております。

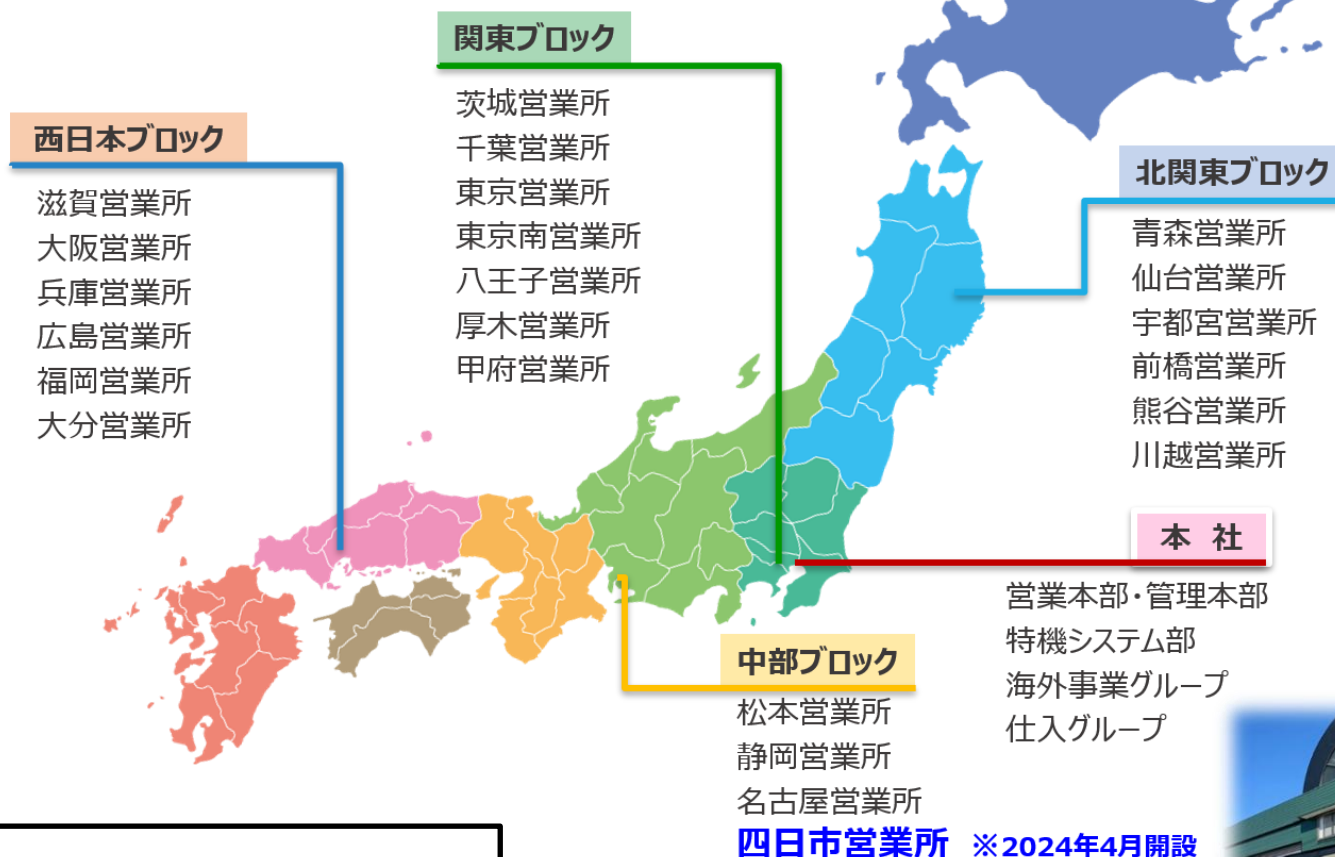


「直販体制」のメリット

- ・ お客様の情報をダイレクトかつタイムリーに収集できる
- ・ お客様の要求に対して最適な提案とスムーズな交渉ができる
- ・ 販売店を介さないため短納期で商品を提供できる

▶ 事業戦略 国内販売ネットワーク

～ 国内23か所に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現 ～



四日市営業所

※山陰地区への出店を予定

事業戦略 海外販売ネットワーク①

～ 海外 3カ国、5カ所の営業拠点を配置 ～

中国

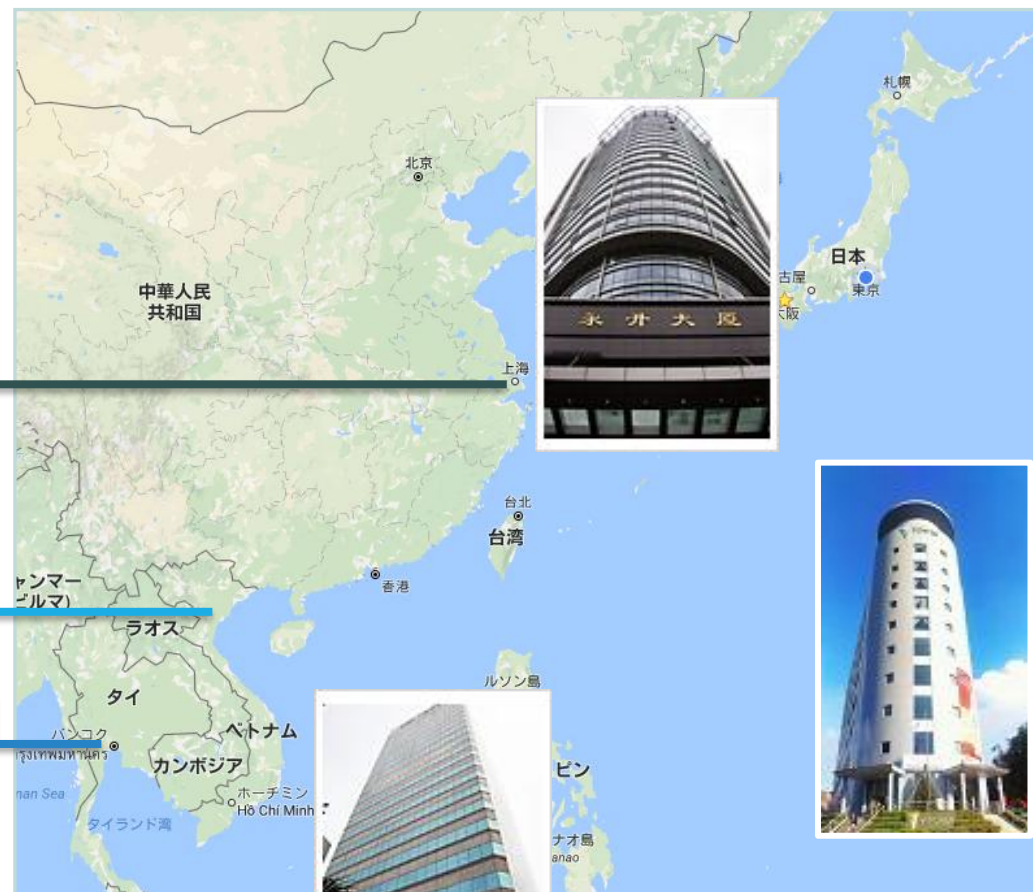
鳥羽（上海）貿易有限公司 （2008年）
（同公司）深圳分公司 （2011年）
（同公司）蘇州分公司 （2014年）

ベトナム

TOBA, INC. (VIETNAM) CO., LTD (2020年)
所在地：ハノイ

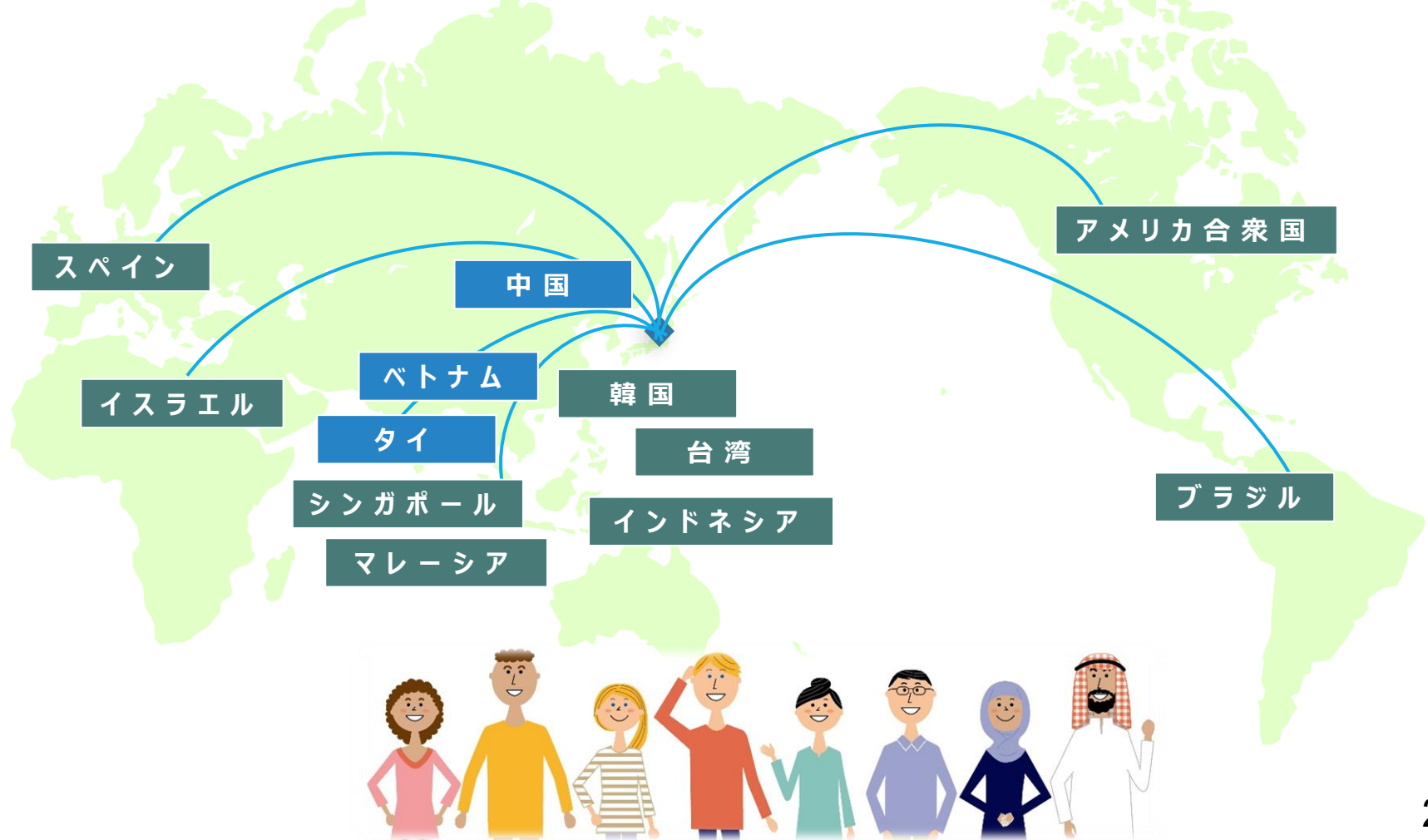
タイ

TOBA (THAILAND) CO., LTD. (2012年)
所在地：バンコク



▶ 事業戦略 海外販売ネットワーク②

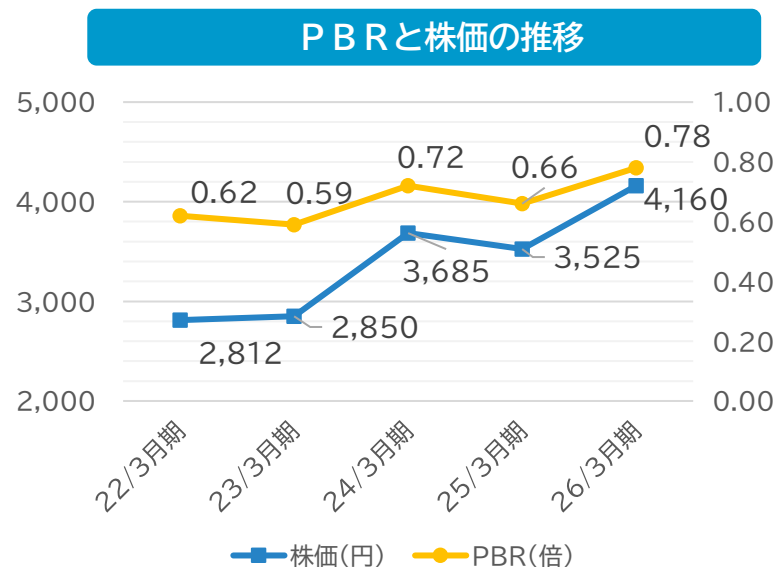
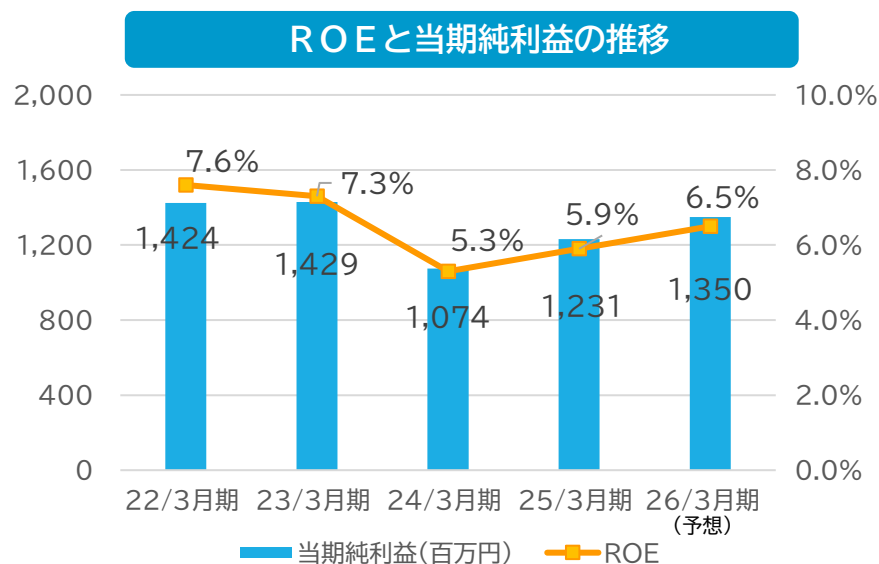
～ 「海外事業グループ」を通じて国内から全世界へ商材を販売 ～



▶ 企業価値の向上 経営指標

～ 目標 ROE 8% / PBR 1倍以上 ～

中期経営計画における事業拡大戦略の実行と業務効率化の推進による収益性の向上を目指します。人的資本への積極投資を行い、IR活動や非財務情報の適切な開示及び最適な株主還元(配当・自社株買い等)を実行し、株式市場からの評価を得ることで企業価値の向上を目指します。

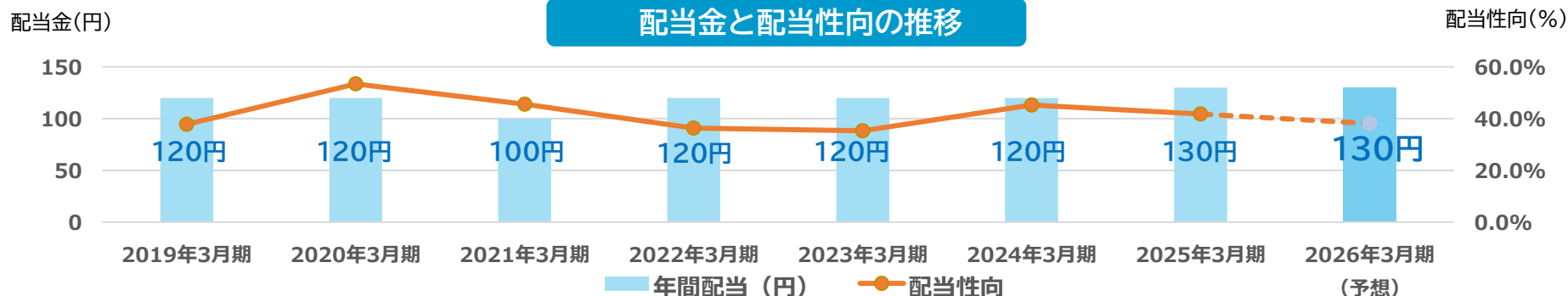


売上高 (予想)	当期純利益 (予想)	株価 (25/9月末)	年間配当 (予定)	配当性向 (予想)	配当利回り (予想)	ROE 自己資本利益率 (予想)	PER 株価収益率 (予想)	PBR 株価純資産倍率 (9月末実績)
330億円	13.5億円	4,160円	130円	38.5%	3.1%	6.5%	12.2倍	0.78倍

※上記の数値は、公表の連結業績予想数値と2025年9月末時点の株価にて算出しております。

▶ 企業価値の向上 株主還元について

- ◆ 配当方針: 長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
- ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする
- ◆ 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応



自己株式の取得状況

実施時期	取得株式数	取得単価	取 得 額	発行済み株式総数 に対する割合
2021年11月	70,000株	2,561円	179百万円	1.40%
2022年2月	50,000株	2,780円	139百万円	1.00%
2022年11月	145,000株	2,750円	398百万円	3.10%
2023年5月	33,800株	2,940円	99百万円	0.70%
2023年11月	80,000株	3,115円	249百万円	1.70%
2024年5月	56,000株	3,600円	201百万円	1.10%
2025年8月	45,000株	4,010円	180百万円	1.00%
合 計	479,800株	—	1,447百万円	10.20%

▶ 企業価値の向上 サステナビリティ

～ 持続可能な社会の実現を目指して積極的なサステナビリティ経営を推進 ～

環境への配慮

■カーボンニュートラルへの取り組み

事業活動における温室効果ガス(CO2)排出量削減のため、サプライチェーン排出量(Scope1～3)を算定しております。

今後は具体的な削減目標を定めて温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。

人的資本経営

■女性活躍推進

有給休暇の取得推進、残業時間削減、復職後の時短勤務による子育て支援など、働きやすい環境づくりと社内環境の整備に取り組めます。

当社は、2025年3月に女性活躍推進法による「えるぼし認定」を取得しております。



■健康経営の推進

当社は、健康保険組合より健康推進の取り組みを評価され「銀の認証」を取得しております。引き続き従業員の健康診断受診100%を継続する等、健康経営を推進します。

■教育研修による人材強化、各種資格取得推進

階層別の教育研修を実施し、社員の一層のレベルアップに取り組んでおります。

また、当社は、技術系専門商社として必要なスキルを維持するための各種資格取得を推進。2025年9月末現在、各種資格取得者数は延べ 334名。



<研修施設での教育研修>

この資料には、2025年11月7日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行
管理本部総務グループIR担当

住 所:〒112-0005
東京都文京区水道2丁目8番6号
電話番号:03-3944-4031
F A X :03-3944-4091
E メール:kanri-01@toba.co.jp